



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社
 コード番号 4538 URL <http://www.fuso-pharm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 戸田 幹雄
 (氏名) 高橋 貞雄

TEL 06-6969-1131

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	35,325	△2.6	562	△31.0	501	△30.8	310	△37.8
27年3月期第3四半期	36,257	△4.4	814	△69.1	723	△72.7	500	△70.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
28年3月期第3四半期	3.44		—	
27年3月期第3四半期	5.53		—	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	72,858		33,239		45.6	
27年3月期	68,627		33,538		48.9	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 33,239百万円 27年3月期 33,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	4.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	△2.2	600	△24.7	400	△41.1	300	△12.0	3.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	94,511,690 株	27年3月期	94,511,690 株
28年3月期3Q	4,078,365 株	27年3月期	4,055,188 株
28年3月期3Q	90,444,287 株	27年3月期3Q	90,475,002 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、個人消費の足取りが依然として重く、企業による設備投資や輸出も力強さを欠いているものの、政府・日本銀行による経済対策及び金融緩和政策を背景に、企業収益・雇用情勢の改善等がみられ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国など新興国や資源国を中心に世界経済の減速など景気の下押しリスクが顕在化し、景気の先行きに懸念が広がる所となりました。

医薬品業界におきましては、高齢者の増加や医療の高度化等に伴い増大する国民医療費に対して、薬価改定や後発医薬品使用促進策など医療費抑制政策が強化されるなか、研究開発費の増加、企業間競争の激化など取り組むべき課題が山積し、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境のもと、当社は、輸液などの基礎的医薬品の安定供給に努めるとともに、業績の確保に向け、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製商品のより強固な浸透を図るとともに排尿障害改善剤「ナフトピジルOD錠」やカルニチン欠乏症改善剤「レボカルニチン塩化物錠」などの後発医薬品の発売を開始するなど販売促進に邁進してまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は353億25百万円と前年同四半期と比べ9億31百万円(2.6%)の減少となりました。また、利益面では売上高の減少により、営業利益は5億62百万円と前年同四半期と比べ2億52百万円(31.0%)の減少、経常利益は5億1百万円と前年同四半期と比べ2億22百万円(30.8%)の減少、四半期純利益は3億10百万円と前年同四半期と比べ1億89百万円(37.8%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は728億58百万円と前事業年度末と比べ42億31百万円(6.2%)の増加、負債は396億19百万円と前事業年度末と比べ45億30百万円(12.9%)の増加、純資産は332億39百万円と前事業年度末と比べ2億98百万円(0.9%)の減少となりました。

なお、自己資本比率は45.6%と前事業年度末に比べ3.3%の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成27年3月期決算発表時(平成27年5月8日)に公表いたしました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法については、従来、定率法（ただし、茨城工場及び平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当事業年度における茨城工場及び城東工場における大型設備の新設を契機として、保有する有形固定資産の使用実態を調査・検討した結果、生産設備全般につき耐用年数にわたり長期安定的に稼働しており、また将来も同様の状況が見込まれることから、期間損益計算をより適正に行うためには使用期間にわたって均等に原価配分を行うことが適切であると判断し定額法を採用したものです。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の減価償却費は2億35百万円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ2億26百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,898	7,476
受取手形及び売掛金	21,181	21,928
商品及び製品	7,807	7,167
仕掛品	103	76
原材料及び貯蔵品	1,377	1,355
その他	1,065	633
貸倒引当金	△2	-
流動資産合計	37,431	38,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,587	7,555
土地	9,968	9,968
その他(純額)	6,895	9,837
有形固定資産合計	24,452	27,361
無形固定資産	388	386
投資その他の資産	6,354	6,473
固定資産合計	31,195	34,221
資産合計	68,627	72,858
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,326	9,138
電子記録債務	3,024	2,945
短期借入金	6,138	7,170
未払法人税等	-	87
賞与引当金	936	449
その他の引当金	306	345
その他	6,698	7,093
流動負債合計	26,430	27,229
固定負債		
社債	190	152
長期借入金	4,940	8,725
退職給付引当金	1,439	1,416
その他の引当金	233	240
その他	1,855	1,855
固定負債合計	8,658	12,389
負債合計	35,088	39,619

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	12,313	11,901
自己株式	△1,438	△1,444
株主資本合計	36,644	36,224
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,166	1,287
土地再評価差額金	△4,272	△4,272
評価・換算差額等合計	△3,106	△2,985
純資産合計	33,538	33,239
負債純資産合計	68,627	72,858

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	36,257	35,325
売上原価	26,233	25,527
売上総利益	10,023	9,798
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	10,024	9,798
販売費及び一般管理費	9,209	9,236
営業利益	814	562
営業外収益		
受取利息	11	15
受取配当金	69	63
保険関係収益	75	91
投資事業組合運用益	5	35
その他	60	83
営業外収益合計	222	290
営業外費用		
支払利息	167	167
生命保険料	96	107
支払手数料	-	64
その他	48	12
営業外費用合計	312	351
経常利益	723	501
特別損失		
固定資産除却損	24	20
特別損失合計	24	20
税引前四半期純利益	699	480
法人税、住民税及び事業税	27	50
法人税等調整額	172	119
法人税等合計	199	170
四半期純利益	500	310

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。